



特 許 願

昭和 49 年 6 月 28 日

特 許 庁 長 官 殿

- 1 発 明 の 名 称 **土壌用改良剤**
- 2 発 明 者 (特許出願人に同じ)
- 3 特許出願人

住 所 **愛知県知多郡武豊町南中根 45**

氏 名 **近 藤 隆 彦**

4 添付書類の目録

(1) 明 細 書

1 通

49-074599

明 細 書

- 1 発 明 の 名 称 **土壌用改良剤**
- 2 特許請求の範囲

パルプ繊維を焼成してなる燐炭に肥料の水溶液を吸収せしめた土壌用改良剤。

3 発明の詳細な説明

本発明は土壌の改良剤にかかわるものである。

パルプ繊維を焼成した燐炭は土壌に施用する際に飛散して取扱いにくい欠点があつた。また、燐炭自体に養分は少なく、燐炭を土壌と混合した後、肥料を施用しなければならなかつた。

本発明は上記の欠点をなくした土壌の改良剤を提供するものであつて本発明はパルプ繊維を焼成してなる燐炭に肥料の水溶液を吸収せしめた土壌用改良剤である。

本発明を実施例について説明する。

実施例

クラフトパルプ調成工程および抄紙工程で得られるパルプ短繊維を2～10mm程度に造粒、もしくは造粒せずに120℃で加熱、乾燥してから400～500

①9 日本国特許庁 公開特許公報

①特開昭 51-3975

④3公開日 昭51.(1976) 1.13

②1特願昭 49-74599

②2出願日 昭49.(1974) 6.28

審査請求 未請求 (全1頁)

庁内整理番号 6812 49

6812 49

6812 49

6812 49

⑤2日本分類

4 F4
4 A12
4 A2
4 C3

⑤1 Int.Cl²

C05G 3/00
C05G 3/04
C05F 7/02
A01N 7/02H
C10L 5/00

℃で焼成して燐炭を作る。硝酸カリ1.082g、りん安3.284gおよび硫酸カリ420gを水300ccに溶解して肥料の水溶液を作る。同水溶液の全量、上記燐炭450gに吸収させて本発明の土壌用改良剤とする。

上記のようにして作成した本発明の土壌用改良剤の一使用例として同改良剤の全量を買岩土壌などの土壌1kgと混合すると膨軟で肥料も有する、作物の生育に好適な培土が得られる。

本発明の土壌用改良剤は水分を含んでいるので飛散せず取扱いに便利である。また、パルプ繊維の燐炭は養水分の吸収力が強いので、作物の生育に必要な養分を生育中に供給するだけでなく、かん水した水分が燐炭中によく吸収されて培土の保水性を高める。

上記の実施例の燐炭原料には、故紙の再生の際に廃出されるパルプ短繊維を使用してもよい。

特許出願人 近 藤 隆 彦

(4) 51-3975

A soil conditioner containing smoked charcoal obtained by firing pulp fibers absorbed with an aqueous solution of a fertilizer.

Smoked charcoal is produced by granulating pulp short fibers obtained in a kraft pulp preparation step and a paper making step to a size of about 2 to 10 mm or, without granulating heating and drying the fibers at 120°C, and then firing the product at 400 to 500°C. An aqueous solution of a fertilizer is prepared by dissolving 1,082 mg of potassium nitrate, 3,284 mg of ammonium phosphate and 620 mg of potassium sulfate to 300 cc of water. The soil conditioner of the present invention is obtained by making 450 g of the smoked charcoal absorb the whole amount of the aqueous solution.